

平成21年度第1回地域力創造セミナー開催要領

1 開催趣旨

国・地方の厳しい財政状況や人口減少社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきた。

このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催することとする。

2 主催

総務省

3 第1回セミナー開催日時及び会場

| テーマ | 募集人数 | 日時 | 開催場所（会場） |
|--|------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 地域力創造の実績に学ぶ① 「地域資源に気づき、活かすには ～地域力創造アドバイザーからの提言」 | 100名 程度 | 平成21年8月21日（金） 13:00～17:30 | 都道府県会館 101大会議室 （東京都千代田区平河町） |

4 受講対象者

原則として、下記(1)(2)を満たす者を受講対象者とする。

- (1) 活力ある地域づくりや課題解決等に前向きに取り組む意欲ある地方公共団体の職員
- (2) 地域活性化や住民協働などに関する事業に1年以上の経験を有する係長相当職以上の職員

5 本セミナーの特徴

- (1) 主に「地域人材ネット」へ登録の専門家等を講師・発表者として、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウの習得を図る機会であること。
- (2) 受講募集時に事前アンケートで質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに応じたものとする。
- (3) セミナー終了時に名刺交換タイムを設け、講師や受講者が自由に情報交換をすることでネットワークを広げる機会があること。

※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門や先進市町村職員を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与するもの。

6 第1回セミナーの内容（予定）

◇開会（13:00）

◇基調講演（13:25～ 70分）

テーマ「食育と食をテーマにした地域づくり」

講師 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー 金丸弘美氏

◇講義①（14:40～ 50分）

テーマ「マチとムラの交流＝ツーリズムによる地域活性」

講師 ㈱マインドシェア「九州のムラへ行こう」編集長 養父信夫氏

◇講義②（15:30～ 50分）

テーマ「歴史や文化を活用したまち歩き「長崎さるく」の展開」

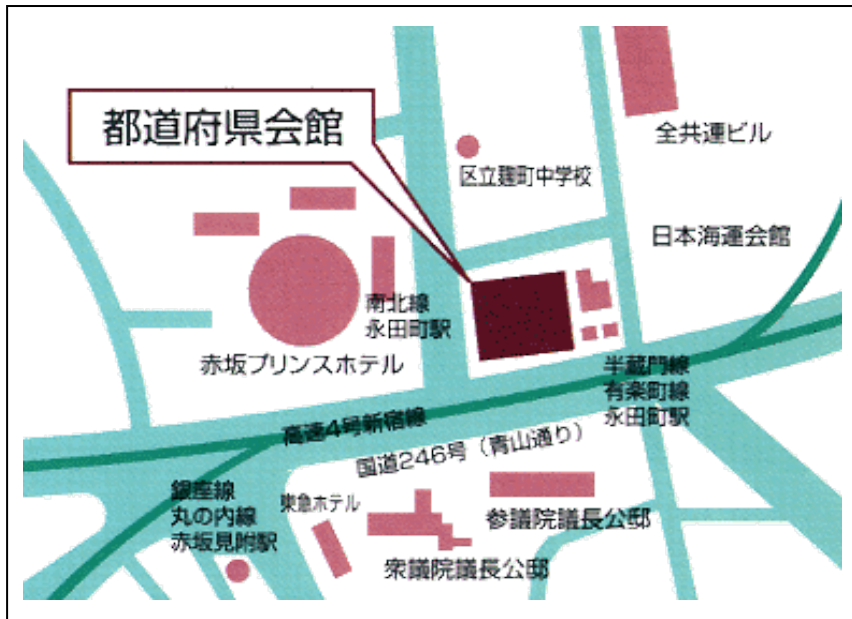
講師 長崎市文化観光部さるく観光課 課長 馬見塚純治氏

◇パネルディスカッション（16:30～ 45分）

事前質問及び会場質問を基に3者による質疑応答

◇閉会&名刺交換会（情報交換）（17:15～17:30頃）

《会場案内》



交通機関と所要時間

●東京メトロ有楽町線・半蔵門線

「永田町駅」5番出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩1分。

●東京メトロ南北線

「永田町駅」紀尾井町方面出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩1分。

●東京メトロ丸の内線・銀座線

「赤坂見附駅」からプリンスホテル方面に坂道を上がって徒歩5分。

★参考情報★

平成20年度に開催した地域力創造セミナーの概要は、
総務省ホームページ http://www.soumu.go.jp/main_content/000026285.pdf
の79P～94Pに掲載

問い合わせ先
総務省地域力創造グループ
地域自立応援課
TEL 03-5253-5391
FAX 03-5253-5537

平成21年度 第1回 地域力創造セミナー講師一覧

| | | 氏名(敬称略) | 実績等 |
|----------------|---------------------|--|--|
| 基調講演 (70分間) | 金丸弘美 (かなまるひろみ) |  | <p>味覚ワークショップを取り入れた食育と食をテーマにした観光振興事業 地域の食材のテキストを作成し、その歴史から栽培法、料理までを知る食育ワークショップを、学校から一般向けまで広く開催。行政、学校、生産者、商店街、料理家等の幅広い参加を促し、食育が地域のブランド作りから観光、商品開発まで結びつくよう、マーケティングの要素を入れ、年間計画を立てて実施している。 これまで大分県竹田市、佐伯市、豊後大野市、玖珠町、佐賀県唐津市、長崎県平戸市、茨城県常陸太田市、岐阜県高山市などの食のアドバイザーを手がけた。特に平成20年度は、地域力創造アドバイザーとして常陸太田市を担当した。</p> |
| 講義1 (50分間) | 養父信夫 (ようふのぶお) |  | <p>マチとムラの交流＝ツーリズムによる地域活性 雑誌「九州のムラへ行こう」(95年創刊)の編集長を務め、九州のツーリズムを取材するかたわら、民間企業とムらをつなげる各種プロジェクトを企画。2005年には福岡市内の商業施設にマチの直売所として「九州のムラ市場」を企画、2007年には自動車メーカーと「Gazoo mura(ムラの活動を紹介し、ナビゲートすることにより体験型ドライブを提案するサイト)」プロジェクトの企画を行う等、ツーリズムを一般に広げる活動を仕掛けている。また九州のグリーンツーリズム実践者たちのネットワーク組織「九州のムらたび応援団」の団長も務め、人材育成、情報発信なども行なう。 平成20年度は、地域力創造アドバイザーとして鹿児島県霧島市を担当した。</p> |
| 講義2 (50分間) | 馬見塚純治 (まみつかじゅんじ) |  | <p>長崎市の歴史や文化を活用したまち歩き「長崎さるく」 まち全体をパビリオンに見立て、まち歩きを通し観光客の皆様に市民とのふれあいや歴史、文化などの魅力を味わってもらおう、日本で最初のまち歩き博覧会「長崎さるく博'06」を開催。その後も「長崎さるく」として通年型のまちあるき観光の定着に取り組んでいる。 2009年は、坂本龍馬をはじめ幕末の志士たちが長崎に集結する転機となった安政の開港から150年の節目を迎えるため、「長崎さるく幕末編」を開催し、観光客や市民の盛り上がりとともに2010年大河ドラマ「龍馬伝」への受け入れ準備を進めている。 平成20年度は、「さるく観光課」が組織として地域力創造アドバイザーを務め、青森県青森市を担当して「楽しいまち歩きによる中心市街地活性化」事業の推進を支援した。</p> |

講師の詳細は総務省「頑張る地方応援プログラム 地域人材ネット」 <http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html> を参照